

文化財石垣保存技術協議会会報

平成26年(2014) 第13号 ー平成26年度事業報告ー

第2回技能者養成研修(実技)

日時 平成26年9月20日(土)～23日(火・祝)
場所 小長井治産株式会社採石場(長崎県諫早市)
受講者 技能会員10名、技術・研究会員4名、
一般会員1名

研修内容

研修項目	講師
石積・石材加工	上月保道(上月工業㈱・本協議会会員)
石材調査記録	藤本昇(藤本石工・本協議会会員) 水野賀道(水野土木・本協議会会員) 菊井知紀(中村石材工業㈱・本協議会会員) 西川禎亮(中村石材工業㈱・本協議会会員)
ー指導協力ー	松本勝蔭(松本建設㈱・本協議会副会長) 和田行雄(和田石材建設㈱・本協議会監査役) 赤松茂(松本建設㈱・本協議会会員) 山口昭弘(松本建設㈱・本協議会会員)



受講者の声

技能者養成研修(実技)・実地研修2(九州・長崎)
研修生氏名 花崎吉宏

実地研修に参加させていただいて、まず、幹事及び研修指導者・協力事業者にお礼を言わせていただきます、研修の計画・指導員の招集・工具器具機械場所の借入等、多大な労力がかかっていることに感動したと思います。

私が属していた班は、手順通りの順番で、フユゴによる道具の作成→手ノミと矢による石割→集積してある転石による石積でした。

フユゴによる道具の作成では、鉄の色による加工開始の判断について教えていただいたのですが、時間の感覚が中々つかず溶かしてしまいました、また、焼き付けの頃は一度や二度どころか、1年ぐらいはかかりそうです。

石割では、手ノミの動きを実演していただいたのですが、動きのマネが出来ずまた、穴が丸くなり、矢のあたりが悪く、割るのに時間がかかった、矢の形状を考えてとの、指摘を受けたのですが、矢のすばみを、変えるか穴を小さく細くしたことを、やってみたく考えています。

石積では班での作業でしたので、班員一人一人および指導員のこだわりが感じられた、総括の時に、根石を一石外したのだが、石垣全体は変状を起こさず、指導員の勝ちとなった、組み合わせられた石垣の変状対応力を感じた。

最後に、寄らせていただいた小川石工具店の方が、作られていたもの・仕事をされていてえられたもの(頃合・勘・工夫)というものが、失われていくしかないという現実が感じられた。

実技講習ということで、カリキュラム的にも一杯で密度の濃い研修でした、ただ、この先「石垣の手引き」が発刊された場合、石材調書の作成という作業が現場に降りてくるのは、必然な状況であるわけですので、底辺サイズの石垣調書作成研修なんてのをお願いします。



研修状況



研修状況

後継者育成研修

日 時 平成26年12月11日(木)～13日(土)

場 所 史跡篠山城跡 石垣保存修理工事現場
(兵庫県篠山市)

受講者 技能会員2名

研修内容

研修項目	内容・講師
現場見学	石積み作業、間詰石作業、石材調査等
現場実習	
総合討論	講師 西川禎亮 (中村石材工業㈱・本協議会会員)



研修状況



研修状況

後継者育成研修 (兵庫・篠山城跡その他)

研修生氏名 服部敏典

篠山城跡研修を終えて

今回研修に参加し、初日から驚かせて頂きました。石工さんが若い！北海道は石の文化が浅いとよく言われますが、それは事実であり数少ない。石工さんも高齢化してきているのに対して、若さに驚き、羨ましくも思いました。今回お世話になった皆様はとても石材にも精通しており、歴史の中の積み方なども精通しており、石工としてのレベルの高さを目の当たりにしました。

実際の研修作業の中で、飼い石の向き(角度)の説明をされた時は一つ一つの作業にはきちんと理論があり、長年の歴史と見識から成り立っていることを再認識させて頂きました。西川講師から控えの長さ・割栗石・勾配・飼いもの、これが大事だと初日に教わり、二日目に篠山城跡・大阪城で実際に注意深く現場を見て納得しました。余談ではありますが、西川講師のなぜ各地のお城に神社があるのかという談義はとても面白く、実際にお城を見てまわった時になんとも言えぬ充実感が込み上げました。

北海道での現場との違い

まずは役所の歩掛編成が違うのでは！？と思いました。北海道では同様の作業を計上すると積み手間のみしか計上されて無い場合が多いです。今回、知り得た知識・知恵を北海道の行政に働きかけ、数少ない北海道の建造物の復元工事や新規工事の際に役立てられるようにしたいと思います。今回の篠山城の工事では石材の管理(様々な)も工事費の中に計上されているとお聞きしましたが、今後は史跡に関わる工事の場合は管理業務という別発注のほうが良いのではないかと思います。

西川講師との雑談の中で北海道にも石工はいますけどもっともっと石工のレベルUPを図り、尚且つ北海道の石工が子々孫々と継承されるためにも是非、一度北海道でも石工の実施研修をお願いしたいと思います。今回は短い期間でしたが西川講師をはじめ、事務局の皆様、現場の皆様にお世話になり誠にありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

実地研修
第12回全国城跡等石垣整備調査研究会(共催)

日 時 平成27年1月22日(木)～24日(土)
場 所 中区役所ホール、特別史跡名古屋城跡
(愛知県名古屋市)

受講者 技能会員17名、技術・研究会員28名、
評議員2名、一般会員7名、賛助会員7名

開催趣旨

テーマ 『城のあるまちにおける石垣の保存と活用』

主 催 文化庁 名古屋市

共 催 文化財石垣保存技術協議会

研究会内容

平成27年1月22日(木)

項 目	発表者等
主催者挨拶	高橋宏治(文化庁文化財部記念物課長) 新開輝夫(名古屋市委副书记)
共催者挨拶	粟田純司(文化財石垣保存技術協議会会長)
大会趣旨説明	本中 眞(文化庁文化財部記念物課主任調査官)
基調講演	赤羽一郎(愛知淑徳大学講師) 「記憶する名古屋城」
報告①	市原富士夫(文化庁文化財部記念物課文化財調査官) 「石垣整備のてびき」

平成27年1月23日(金)

報告②	下高大輔(彦根市教育委員会文化財部文化財課) 「特別史跡彦根城跡」としての石垣修理の現状 と課題 -ハード面とソフト面の視点から-
報告③	市澤泰峰(名古屋市民経済局名古屋城総合事務所) 「特別史跡名古屋城跡における石垣整備について-本丸 搦手馬出周辺石垣修理工事を事例として-
報告④	田多井用章(松本市教育委員会松本城管理事務所) 「史跡松本城跡の石垣整備について」
報告⑤	和田行雄(文化財石垣保存技術協議会) 「文化財石垣の保存と修理」
討論会	テーマ『石垣整備の過程で把握した技術・技能に関す る情報の共有の在り方』 コーディネーター 瀬口哲夫(名古屋市立大学名誉教授) パネリスト 市原富士夫、下高大輔、市澤泰峰、 田多井用章、和田行雄
まとめ	本中 眞(文化庁文化財部記念物課主任調査官)

平成27年1月23日(金)

次期開催地挨拶	川村和也(弘前市都市環境部長)
閉会挨拶	下山浩司(名古屋市民経済局名古屋城総合事務所長)

平成27年1月24日(土)

視察研修	名古屋城本丸搦手馬出石垣修復現場見学
------	--------------------



会場の状況



和田氏の報告



討論会



名古屋城跡見学

■出版図書紹介

第12回 全国城跡等石垣調査整備研究会において、文化庁の市原主任文化財調査官より、「石垣整備のてびき」の出版が発表され、内容が紹介されました。

本会会員や役員・事務局の方々も多く執筆されており、今後の文化財石垣整備の指針となるものです。是非活用いただきたいと思います。

(同成社 5000円+税 書店でご購入ください。)

*六一書房のホームページ書評コーナーに和田監査役の書評が掲載されました。



■新規加入会員紹介

(平成27年2月15日役員会審査)

・技能会員 (2名)

竹田 源 (明地石材)

中西慎也 (上月工業㈱)

・技術・研究会員 (2名)

能西 一 (株太陽測地社)

藤田 精 (高尾石材㈱)

・一般会員 (3名)

上原尚樹 (株埋蔵文化財サポートシステム沖縄支店)

熊崎 司 (津市教育委員会生涯学習課)

平松昭人 (一級建築士事務所平松昭人アーキテクト)

・賛助会員 (1法人)

アオノ産資㈱

■事務局からのお知らせ

事務局では「会員証明」の発行を行っています。業務などで必要な方は事務局まで発行をご請求下さい。

2009年第2回研修会の資料集(1000円)を販売しております。ご希望の方は下記の通り申し込み願います。

【申込方法】資料代金1000円は現金または郵便定額小為替、送料215円は切手で、両方を現金書留等の郵送で事務局に申し込んで下さい。

詳細は、姫路市立城郭研究室ホームページ (<http://www.city.himeji.lg.jp/jyokakuken/index.html>)にも掲載しております。

■事務局・広報担当からのお願い

○研修会などの参加感想や、文化財石垣について日頃疑問に思っていることなどありましたら下記事務局まで書面にてお知らせください。

年2回の会報ですが、可能な限りお答えしていきたいと思います。

○当協議会が実施する研修内容や項目について要望があれば書面で事務局までお知らせください。

内容を検討のうえ、各種事業に反映させていただきます。

○各地の文化財石垣情報、書籍、刊行物の発行がありましたら情報提供ください。

■入会手続き

入会をご希望の方は、まず事務局にご連絡ください。当協議会の入会申込書を送付いたします。また、当協議会のホームページからもダウンロードできますので、必要事項を記入のうえ、下記の事務局へお送りください。

役員会にて会員資格審査後、入会通知書及び会費納入の振込用紙を送付します。年会費(4月～翌3月)をお振入いただき、事務局で正式に受理した日から本協議会会員として登録します。

■文化財石垣保存技術協議会会員数

(平成27年3月31日現在)

技能会員	130名
技術・研究会員	79名
一般会員	26名
賛助会員	17名
評議員	9名

発行年月日 平成27年3月31日

編集・発行 文化財石垣保存技術協議会

事務局住所 〒670-0012 姫路市本町68-258

日本城郭研究センター内

TEL 079-289-4877 FAX 079-289-4890